

### 宝くじ助成で地域活性化を

#### 宝くじ助成事業で太鼓と備品の修理と整備を実施

この程、コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、大林区で太鼓と台座の修理とワイヤレスヘッドセットと発電機の整備を行いました。このコミュニティ助成事業は、宝くじ社会貢献広報事業費を財源として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備などに対して、一般財団法人自治総合センターが助成を行うものです。今後、大林区のみならずの活性化が期待されます。



大林区において修理された区長太鼓と台座、整備されたコミュニティ活動備品

### 企業が優秀な若者を求めています

#### 企業と学校との情報交換会

大津町企業連絡協議会主催の就職に関する情報交換会が11月17日に役場で行われました。町内の企業30社と県内の高校など18校から約70人が出席しました。企業側と学校側がそれぞれの参加者全員と意見交換ができるようグループを変えながら情報交換を全9回行いました。学生の採用に関するだけでなく、企業や学校の抱える人材育成や人材確保についての課題など、学生の地元への就職に向けて企業側と学校側で活発に情報交換が行われました。



フリートークでより活発な意見交換が行われました

### 多年にわたる功績に敬意を表して

#### 令和5年度大津町自治功労者表彰

「令和5年度大津町自治功労者表彰式」が昨年12月6日、大津町定例議会の冒頭で行われました。この表彰は、町の地方自治を振興することに顕著な功績があった人に贈られるものです。表彰式では、金田町長より受賞者の方々に表彰状が贈られた後、受賞者を代表して金田祐次さんが謝辞を述べました。受賞者は次のとおりです。



#### 自治功労者表彰被表彰者 (敬称略)

##### 職員に準ずる人で8年以上勤続

行政区嘱託員 行政協力員  
西本 哲治 金田 隆

行政区嘱託員及び行政協力員  
式森 幹雄

##### 防災指導員

岩本 勝 坂田 良一 高濱 順子 府内 清喜  
益田 和人 松坂 孝 松本 光行 吉村三重子  
山本 明香

##### 大津町男女共同参画審議会会長

小山 佳子

##### 大津町部落差別等撤廃・人権擁護審議会会長

津留 武芳

##### 県営園場整備事業推進委員

金田 祐次 吉良登美雄 合志 光明 坂本 唯範  
合志 鉄司 今村 維詔 今村 鉄夫 大村 敬伸  
大村 真幸 大村 吉幸

##### 大津町基本財産林保護委員

坂本 俊明

##### スポーツ推進委員

古庄喜充圭 古嶋 大輔 中村五輪子 上藤 剛志

##### 大津町国民健康保険事業の運営に関する協議会委員

西岡 智子

##### 大津町健康づくり推進計画策定委員

本田 真彩

##### 社会に対する善良な行為により町民から感謝と信頼を受けたもの

##### 大津地区交通安全協会大津町女性の会会長

吉田 良子

##### 大津地区交通安全協会大津町女性の会副会長

源川しま子

※消防関係の被表彰者は、「消防出初式」で表彰を行います。

### 「税を考える週間」作品表彰

#### 「税を考える週間」の入賞者表彰式

国税庁では、毎年11月に「税を考える週間」として、税の仕組みや役割などの税に対する理解を一層深め、税務行政に対する理解や納税意識の高揚を図るため、さまざまな取り組みを行っています。その取り組みの一つで小中学生の税を題材にした作品の募集が行われ、入賞者の表彰式が昨年11月15日に菊池市文化会館で行われました。応募された書道、作文、ポスター、標語、絵葉書の中から、書道の部と絵葉書の部において町内の小学生5人が受賞し、表彰を受けました。



上段左から清水莉心さん(大津南小)、益田紗吏さん(大津小)、下段左から堤田真央さん(室小)、地高由希子(大津南小)さん、石垣美結さん(大津小)

### ニュースポーツを親子で楽しむ

#### 護川小学校PTA主催「もりかわフェスタ」開催

「もりかわフェスタ」が昨年11月18日に護川小学校で行われました。これはニュースポーツなどを通して地域の人たちとの交流を深めるために実施され、町が貸し出しているニュースポーツの備品を利用して町スポーツ推進委員も参加してイベントが行われました。シャッフルボードやペタンク、ラダーゲッターなど5つのニュースポーツが体験でき、スポーツを体験するごとに参加者に配られたスタンプカードがたまりません。いろんなスポーツを子どもから大人まで楽しんでいました。



スポーツ推進委員と一緒にラダーゲッターに挑戦

### Honda熊本 大健闘!

#### 第48回社会人野球日本選手権 準優勝

昨年11月8日から19日まで大阪府で開催された第48回社会人野球日本選手権大会において、九州地区代表として出場した本田技研工業(株)熊本製作所の Honda 熊本硬式野球部が、1988年の第15回大会以来、33大会ぶりの準優勝を果たしました。全国屈指の競合がいるパートを勝ち上がった決勝戦では、大阪ガスに7-9と惜敗しましたが、最後まで粘り強く戦い続ける姿に、スタンドの家族やファンからは「元気をもらった」と惜しみない拍手が送られました。



気合いを入れる Honda 熊本の選手の皆さん